

近畿中国森林管理局

# 広島北部森林管理署 ひろほく通信

## 林業関係者らが連携したシカ対策の実現に向けて

広島北部森林管理署では、現在、神石高原町において林業関係者らが連携して、更に効果的なシカ捕獲に取り組む仕組みについて、関係者との調整を進めています。具体的には、林業事業者が事業地を含めた周辺の造林地において、森林施業と並行して事業実施時期にシカ捕獲を行うものと、猟師から構成される捕獲隊が森林施業地以外の森林においてシカ捕獲に取り組むこととしています。これに先立ち、6月25日神石高原町において、近畿中国森林管理局が開発し、奨めている「小林式誘引捕獲法」の罠の設置実演会を、林業事業者、猟友会、行政の獣害担当者ら26名の参加の下、実施しました。設置箇所の選定や、実際の設置方法、誘引剤(餌)の配置、罠の設置数など、多岐にわたった内容について説明・実演しました。



猟友会など多くの方が参加



局保全課の小林係長の講演



罠の設置の実演



罠の説明に聞き入る参加者



犬伏山国有林



丁寧に説明する担当者

## システム販売の現地案内会を開催しました

広島北部森林管理署では、今年度16,000m<sup>3</sup>の素材生産を計画しており、そのうち一般材、原料用材(低質材)で7,420m<sup>3</sup>のシステム販売を計画しています。システム販売とは、合板用、バイオマス発電用など需要の拡大が必要な一般材、原料用材の計画的・安定的な供給を図るため、あらかじめ協定を締結した製材工場や原木市場需用者へ、直接山元で販売する方法です。広島北部森林管理署では、今年度のシステム販売開始に先立ち、6月9日森林整備事業地の犬伏山国有林と俵原山国有林において、国有林システム材の買い受けを希望している事業者を対象にした現地案内会を行いました。案内会では、販売予定量、林齢、販売時期、集積場所などについて、詳細に説明しました。広島北部森林管理署では、引き続き積極的な販売促進活動に取り組めます。

## 令和2年度広島北部森林管理署の素材生産

国有林名	生産量	委託販売	システム販売(一般材)	システム販売(低質材)	備考
俵原山	5,200m <sup>3</sup>	2,580m <sup>3</sup>	1,150m <sup>3</sup>	1,470m <sup>3</sup>	
犬伏山	5,900m <sup>3</sup>	3,900m <sup>3</sup>	500m <sup>3</sup>	1,500m <sup>3</sup>	
新元重山、大造山	1,560m <sup>3</sup>	580m <sup>3</sup>	600m <sup>3</sup>	380m <sup>3</sup>	
御所ヶ谷山、新元重山	3,340m <sup>3</sup>	1,520m <sup>3</sup>	560m <sup>3</sup>	1,260m <sup>3</sup>	

## 多様な森林づくりの「見える化」に取り組んでいます

近畿中国森林管理局と広島北部森林管理署では、公益的機能の持続的な発揮や森林の吸収源対策等の観点から、面的な育成複層林化の取り組みを進めています。この多様な森林(もり)づくりは、一定程度の広がりのある森林において、育成単層林(通常伐期、長伐期)と育成複層林(循環利用、誘導存置型)を適切に配置し、その上で自然的条件や社会的条件を踏まえ、育成単層林から育成複層林へと誘導(「見える化」)していく森林(もり)づくりです。広島北部森林管理署では、6月15日周計画課と合同で、「見える化」のための現地検討を行いました。現地では、見える化への技術的課題や、その後の取扱いなど、様々な意見を交わしました。



見える化の俵原山国有林



遠望して現地を図面で確認



現地を詳細に確認



見える化の林内現況



近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署  
TEL:0824-62-2155/FAX:0824-62-2156  
〒728-0012 広島県三次市十日市中2-5-19

